

三重大

えっくす

X

2018
vol. 40ホット
ニュース

高大連携事業特集 インターンシップ特集

特集

おもしろ研究・先生XVI

速報

文部科学省等支援プログラム

- 気になるNEWS
- スポット/クラブ・サークル
- 本の紹介
- 表彰
- お知らせ
- 歴史街道シリーズ



三重大学ホームページ
からアイコンをクリック!



「@MieUniversity」
で検索!



YouTube →



「mieuniversityweb」
と検索!

“高大連携事業とは”

三重大学では学習意欲あふれる高校生が自発的に大学と交流できる機会を提供することを目的として、サマーセミナー、高校生向け公開授業（高大連携授業）、東紀州講座、高校側のニーズに対する対応などを行っています。これまでもオープンキャンパスや出前授業などを通じて、三重大学を理解してもらう取り組みを進めてきました。高大連携の各プログラムはこれをもう一步進めて、高校生が大学での講義、演習・実験・実習に参加できる機会や大学教員が高校を訪れる機会をより多く、毎年延べ5,000名以上の高校生と交流しています。



* サマーセミナー *

三重県内の高校生に、三重大学で学ぶ機会を創り出し、高校生らが大学の教育に対する理解を深めるとともに進路決定上の指針を与えることを目的とし、高校生の夏休み期間中に各学部で様々なテーマで公開セミナーを開講しています。

過去の授業事例

講座名：「シミュレーションを用いた体験型医学医療教育」高度技能トレーニング（医学部）



バーチャルシミュレーターを用いた高度技能トレーニングの体験をします。分娩、腹腔鏡手術、内視鏡、血管内治療などの医療に関わる様々な技術体験を行い、医療に対する知識・関心を深めます。

講座名：簡易ロボットの仕組みと動かし方（工学部）



レゴブロックを使用したロボットキットの製作や、パソコンを使用しているプログラミングなどを通じて制御の基礎を学びます。セミナーの最後には各チームが自由製作した作品で競技会を行います。

講座名：表現を生かした教育の展開（教育学部）



屋外で木にくくりつけたロープにぶら下がる立体動作を交え、グループごとに足で真っ白な布のキャンバスに絵を描くなどの身体全体で表現する芸術体験を行います。

講座名：日本書誌学（人文学部）



本物の古書を使用し、取扱い方や分類方法を学びます。様々な種類の紙の性質を比べたり、実際に書籍の装訂（装丁）の一種である「粘葉装」を作成するなど、多様な角度から書誌学の知識を深めます。

★アドミッションセンター サマーセミナーのページはこちら

<http://www.ac.mie-u.ac.jp/activity/koudai/about/summer-seminar.html>



* 高大連携授業 *

高大連携授業とは、三重県内の高校生が大学生と共に教養教育の授業を受講し、所定の成績を修めた場合には三重大学の単位を与える公開授業です。大学における授業の雰囲気を経験し学習意欲を高めることや、三重大学の教育研究に触れ、理解と関心を深めてもらうことを目的としています。



高大連携授業の様子

* 東紀州講座 *

東紀州講座とは、三重大学と木本高校・尾鷲高校との密接な連携のもと、両校の生徒を対象とした公開講座です。この講座は、三重大学から距離のある両校に各学部の教員が訪問し、三重大学の教育研究資源である最新の科学的知見を生徒に還元することを目的としています。



東紀州講座の様子

* 高校からのニーズに対応 *

文部科学省が指定しているSSH※1校、SGH※2校や他の高等学校からの高大連携に関わるニーズに答える取り組みです。11月に開催される高大連携交流会で三重大学が有する教育・研究シーズを紹介し、高校側の連携希望とマッチングします。平成30年度は約70件の連携を行っています。



勢水丸での調査実習（生物資源学部）

※1：SSH/スーパーサイエンスハイスクール
※2：SGH/スーパーグローバルハイスクール

高大連携事業スケジュール（平成30年度）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
サマーセミナー				↔								
高校生向け公開講座（高大連携授業）	← 前期 →						← 後期 →					
東紀州講座				↔								
各学部による出前授業	← 随時 →											
高校からのニーズに対応	← 次年度の申し込みに関しては11月の高大連携交流会で説明 →											

★アドミッションセンター 高大連携のページはこちら

<http://www.ac.mie-u.ac.jp/activity/koudai/>



“三重大学のインターンシップ”

三重大学では、学生が自己の適性を知り、専門分野の学習意義を自覚し、社会人として必要な資質を体得し、職業意識を醸成することを目的として、企業、地方公共団体及び各種団体等の協力を得てインターンシップを実施しています。

学生の多様な進路をふまえ、インターンシップを狭い意味での就業体験とは捉えず、大学教育の一環として位置づけていきます。

インターンシップの流れ

(キャリア支援センターを通じた) インターンシップの場合

学部1～3年生
大学院1年生

5月 インターンシップ
説明会/事前研修会

6月 募集・選考

8月 実習

10月 インターンシップ
事後研修会

3月 就職活動へ!

学部4年生
大学院2年生

インターンシップ 説明会/事前研修会

キャリア支援センターでは、インターンシップ参加希望者を対象としたインターンシップ説明会/事前研修会を5月に開催しています。インターンシップ参加希望者は参加必須の研修会です。

インターンシップ参加のための手続きから、心構えや目標設定、ビジネスマナー等盛りだくさんの内容で、夏に多く開催されるインターンシップに備えます。企業ブースで各企業の担当の方からインターンシッププログラムの説明を受ける時間もあります。

平成30年度はインターンシップ参加希望者750名が参加しました。



インターンシップ 事後研修会

10月にはキャリア支援センター主催によるインターンシップ事後研修会を開催しています。

事後研修会は夏休みにインターンシップに参加した学生を対象として、インターンシップの経験で得られたことを共有し、深めることを目的としています。

平成29年度は128名が参加し、「インターンシップの経験を今後はどう生かすか」をテーマにグループディスカッションを行いました。

平成30年度は10月17日(水)に開催予定です!



Question いつ行くものなの?

夏休み等の長期休暇中に多く実施されています。三重大生を対象として学期期間中に実施されるものもあります。学部3年生・大学院1年生の参加が多いですが、全学年対象で学部1年生から参加できるものもあります。詳しくはキャリア支援センターで確認を!

Question 何日間行くものなの?

実施期間は1～5日から10日、さらに長期間のものまで企業・団体によって様々です。研修内容によって異なりますので、自らの目的に合わせて選ぶ必要があります。

インターンシップ Q&A

Question どんなことができる?

社員と行動をともにして仕事そのものを体験する「実践型」、いろいろな部署の仕事を知る「見学・体験型」、事業内容を学び働くことについて考える「講義型」、課題に対して企画提案を行う「プロジェクト型」、など、企業・団体によって様々。

早い時期から参加して、自分の将来について考えよう!
自分の目的に合ったプログラムを選ぼう!

Question どういう準備が必要なの?

何のために参加するのかをしっかりと考え、終了後にしっかりと振り返りができるよう、参加の目標を立てることが必要です。そのために必要な情報を自分でしっかりと集めておかなければなりません。

Question インターンシップは単位になるの?

教養教育をはじめ、いくつかの学部でインターンシップ科目が単位化されています。詳しくは各学部で確認を!

三重大が進める「教育的インターンシップ」

三重大
キャリア支援センター長
野崎 哲哉



三重大が進める「教育的インターンシップ」とは、大学での学修と社会組織での実習・経験を結びつけ、学生の学修の深化、新たな学習意欲の喚起、さらに自己の職業適性・将来設計を考える機会の提供を図るものです。インターンシップを狭い意味での就業体験とは捉えず、多様な社会的実践の取組を含むものと位置付けています。

地域活性化が求められる今、三重大ではディプロマ・ポリシー(学位授与方針)に沿った教育実践の一環として「教育的インターンシップ」に力を入れています。地域社会に有能な人材を輩出するためのこの取組にぜひともご理解・ご協力をお願い致します。

体験談

生物資源学部 2年(インターンシップ参加時) 井上 雄介
万協製薬株式会社/5日間

●参加のきっかけは?

3年生になってインターンシップに参加した先輩から、時間的に余裕のある2年生のうちから参加しておいた方がいい、と勧められたことがきっかけです。インターンシップ先は、以前から製薬関係の仕事に就きたいと思っていたこと、製薬会社のインターンシップの中でも特に内容が濃く、いろいろな製薬の工程を見せてもらえるプログラムだったことから選びました。

●実際に参加して

大学の講義の中で行う実験での経験が、製薬の工程に応用できることがわかりました。例えば、参加前には意義を見出せず、あまり好きではなかった講義の中に、製薬の工程での大切な要素が含まれていたことに気付くことができました。

また、万協製薬は主に依頼されて薬を作る会社ですが、他にも新薬を開発する会社など製薬会社にもいろいろな会社があることを知りました。インターンシップに参加して以降、他の製薬会社も調べ始め、漠然と考えていた製薬関係の仕事の中でも自分がどんな製薬の仕事をしたのか、そのために今どんな勉強するべきかを考えるようになりました。

今は、これまでにない革新的な薬を作ることに憧れています。万協製薬のインターンシップに行ったことで、製薬の中でも自分のやりたいことに気付きました。今年は新薬開発を行う別の製薬会社のインターンシップにも参加予定です。

少しでも興味がある業界・仕事のインターンシップに早いうちに行っておいたほうが良いと感じました。それによって得るものは多いと思います。



体験談

工学部 1年(インターンシップ参加時) 林 奏帆
三重県地球温暖化防止活動推進センター/5日間

●参加のきっかけは?

教養教育の「環境インターンシップ」の講義の一環で参加しました。インターンシップの概要や受入企業を知る講義が数回ある以外は、夏休みにインターンシップに行くのがメインの1.2年生対象の講義です。

私の学科では1年生は座学がほとんどですが、友人から他学部では夏休みに実習や課題があると聞き、何か自分で動いて体験することをやってみたく感じたこと、環境について高校のときから興味を持っていたことから、「環境インターンシップ」の講義を選択しました。

●実際に参加して

私の参加したインターンシップは就職に直結するものではありませんが、イベント企画に当たった会議の陪席や、学童保育施設での環境授業への参加の三重県地球温暖化防止活動推進センターの幅広い業務を見学・体験させていただきました。

インターンシップ前に下調べをしても、やはり実際に行ってみるとは全く違い、詳しいところはわかっていなかったと感じました。今後就職を意識したとき、やはり有名な企業に目が行ってしまいがちですが、企業の名前や評判だけに左右されず、自分の目で見て考えたいと感じました。

今年はインターンシップの参加予定はありませんが、次は3年生になったら就職を意識して参加したいと考えています。1.2年生で参加するインターンシップは、就職についてまだ何も方向性が決まっていなくても、興味だけで気軽に参加できるのが良い所だと感じました。参加してみることで、新しい選択肢が広がることもあると思います。



特集
おもしろ
研究・先生
XVI



三重大学大学院医学系研究科生命医科学専攻・教授
成島三長 Narushima, Mitsunaga

手術室にて

からだのカタチと機能を取り戻す！
スーパーマイクロサージャリーから再生治療へ

「形成外科とは」

失われたかたちや機能を取り戻し、患者さんの人生の再出発をお手伝いする新しい医療、それが私たち形成外科医の仕事です。

一般的にはけがをきれいに治したり、シミやほくろをきれいに取ったりするというイメージがあるかもしれませんが、しかしそれはほんの一部でしかありません。例えば癌などの病気やけがで失われてしまった指や腕、足、鼻、耳、さらには喉などに、必要に応じて他の場所から組織を移植する治療を行っています。組織と一口に言っても皮膚や脂肪、血管やリンパ管、筋肉や神経などありとあらゆるものを使います。身体の機能を損なうことが無いようにカタチや機能を取り戻す(再建といいます)ために治療を行っています。

形成外科の種類

<p>美容 ふたえまぶた 二重瞼・豊胸・シミ・皺 痩身・脱毛</p>	<p>外傷 切傷・火傷・挫滅創 切断指・顔面骨折</p>
<p>先天異常 耳介奇形(小耳症)・血管腫 奇形・多指症・口唇裂</p>	<p>腫瘍 頭頸部腫瘍 (咽頭がん、食道がん) 乳がん・四肢悪性腫瘍 肝臓がん・胆管がん</p>
<p>ケロイド・ 瘢痕拘縮 手術創・火傷痕</p>	<p>炎症・難治性潰瘍 放射線潰瘍・リンパ浮腫 足壊疽・褥瘡(床ずれ)</p>

「スーパーマイクロサージャリー」

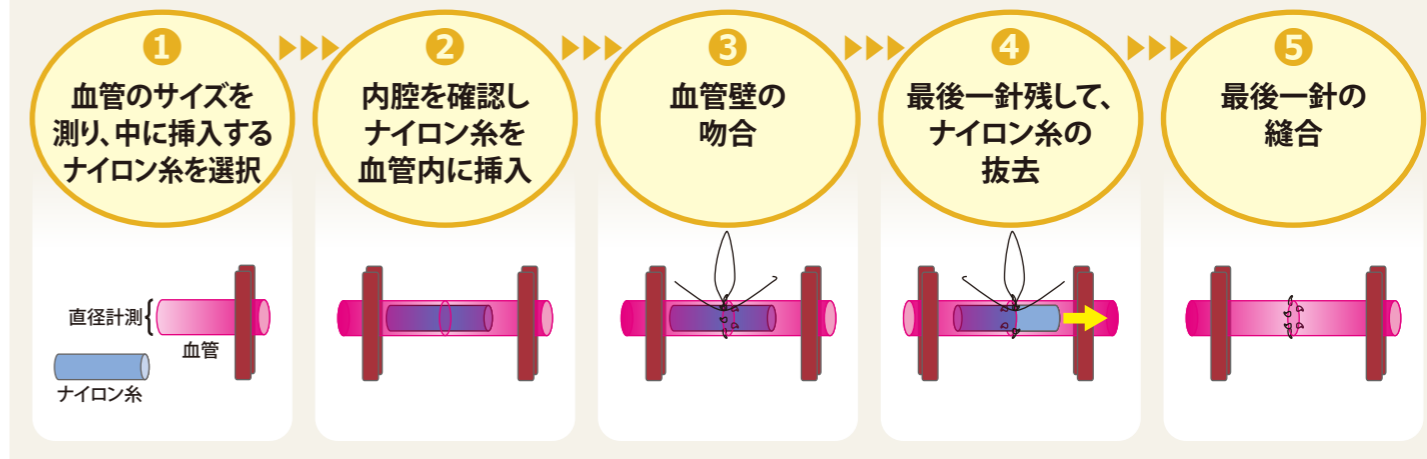
さて、再建の時に重要なのが、血管吻合ぶんごうという技術です。どんな組織も血液が流れていなければ死んでしまいます。そこで移植する組織にある細い血管を、治したいところにある血管につなげます(吻合)。今までのマイクロサージャリー技術では血管吻合には1-5mmの太さが必要でしたが、新しいスーパーマイクロサージャリー技術によって0.1-0.5mmのごく細い血管の吻合ができるようになりました。これにより1歳の子のごく小さな指の切断の治療や、細かい形の再建ができるようになってきました。さらに現在は神経細胞をつないですぐに神経機能が回復する“ナノ”レベルの技術開発を進めています。

マイクロ(微小)サージャリー(外科)とは、顕微鏡を覗きながら特殊な器具を用いて行う手術のことだよ



特集／おもしろ研究・先生XVI

新しいスーパーマイクロ吻合法 (IVaS法) の開発



「キズが無くなる？ 研究」

このような最新の再建技術を使って、できてしまった傷跡は目立たなくすることはできません。それは、ヒトの傷は硬い線維が傷口を覆って治す“瘢痕治療(はんこんちゆ)”と呼ばれるメカニズムで治るためです。しかしイモリのように、傷痕を残さずに治りさらに切断された腕なども回復(再生治療)する生き物もいます。

私たちはイモリや哺乳類の治癒過程の研究をすすめており、将来けがをしても傷跡を残さず元通りに治る方法を他大学と協力しながら見つけていきたいと思っています。

瘢痕治療と再生治療の違い



※線維芽細胞とは、傷を閉じるために集まってきて必要な材料を作ってくれる細胞のこと

特集
おもしろ
研究・先生
XVI

建築音響学
音と建築の密接な関係



三重大学大学院工学研究科・准教授
寺島 貴根 Terashima, Takane
[URL] <http://www.e.arch.mie-u.ac.jp/tera/>

建築棟の無響室にてゼミの学生とともに

「反射音の存在と効果」

日常生活において反射音の存在を意識することは殆どありませんが、室内で発せられた音は必ず反射音を伴って聴かれ、その効果による心理・生理的影響を受けているのです。この室内における反射音の効果は、私の専門である建築音響学という分野で研究されています。

室内では必ず反射音を聴いている



音の「響き」とは、物理的に言えば反射音の構造（耳に直接届く「直接音」に対する反射音の大きさ、遅れ時間や到来方向など）のことです。遅れ時間の小さい反射音は、直接音を補強して明瞭に聴こえることに寄与します。また長い残響は広くて閉じた空間で生じ、潤いのある豊かな音楽を演出してくれます。さらに側方から到来する反射音は「音の拡がり感」に寄与し、「音に包まれた」音楽体験を提供してくれます。一方、直接音から大きく遅れて分離して聴こえる反射音はエコーと呼ばれ、会話の明瞭性を損ねるなど邪魔な存在です。反射音はその構造によって有益にも有害にもなり得るのです。

「空間の仕様と響き」

室内の反射音の構造は、空間の仕様（室の大きさや形状、材質など）、つまり建築によってデザインすることができます。これを建築音響設計と言い、様々な建築空間に対してその用途や広さに応じて快適に使用できるよう施されるべきものです。

「ホールの平面形状」

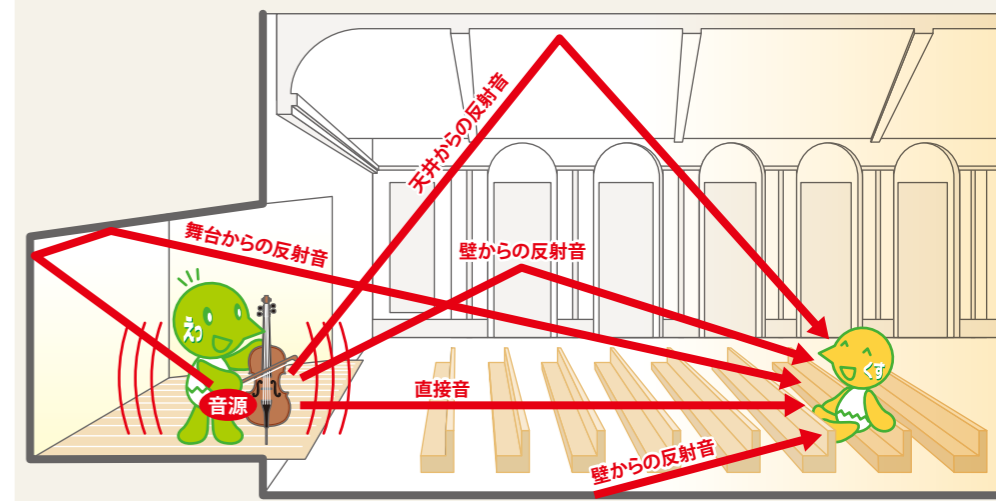
図のようにホールの平面形状には大別して3つのタイプがあります。それぞれの響きは異なり、用途や客席収容数などに対して一長一短があります。

近年ヴァンヤードというアリーナ型を改良したタイプのホールが多く建てられるようになってきました。これは、客席のブロック毎に大きな段差を設け、客席に近い横の反射面を多数作り出すことにより、アリーナ型の客席配置の利点とシューボックス型の響きの良さを両立したものです。

典型的なホールの形状

<p>扇型</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多目的な使用に向いている。 ● 側壁からの反射音供給に難あり 	<p>アリーナ型</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 舞台の近くに多くの客席を配置できる。 ● 円弧状の平面形は音響的に難あり 	<p>シューボックス型</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多重な側方反射音の効果により音楽鑑賞向き ● 舞台の見やすい客席配置や収容数に難あり 	<p>ヴァンヤード(ぶどう畑)形式</p> <p>サントリーホール(東京)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● クラシック音楽演奏専用のコンサートホール(座席数2006) ● 残響時間2.1秒(満席時、中音域)

空間の仕様は響きを規定する



「響きの印象に対する視覚情報の影響」

「ガ」と話している顔の動画に「バ」と言っている音声を組み合わせて視聴すると、「ガ」でも「バ」でもなく「ダ」と聞こえること(マガーク効果)はよく知られています。視聴覚の情報は脳で統合されてから処理されるので、聴覚情報に対する解釈や印象は必ずしも音の刺激だけでは決まらず、視覚情報の影響を受けることを示しています。そしてこれは室の内観と響きの関係にも当てはまると考えられます。

私の研究室では、様々な建築空間の内観と響きの組み合わせを、スクリーンやヘッドマウントディスプレイ、スピーカやヘッドホンを用いて実験室(無響室)で仮想的に再現し、視聴覚の主観印象を測定する実験を行い、空間の仕様など視覚的に捉える情報と室の響きに対する印象の関係を明らかにして、建築音響設計に生かそうとしています。

たとえば、残響に乏しい空間であっても、内観意匠など建築的な工夫による視覚効果を用いて、より豊かな響きを感じさせる音楽空間を設計することが可能であると考えています。

特集／おもしろ研究・先生XVI

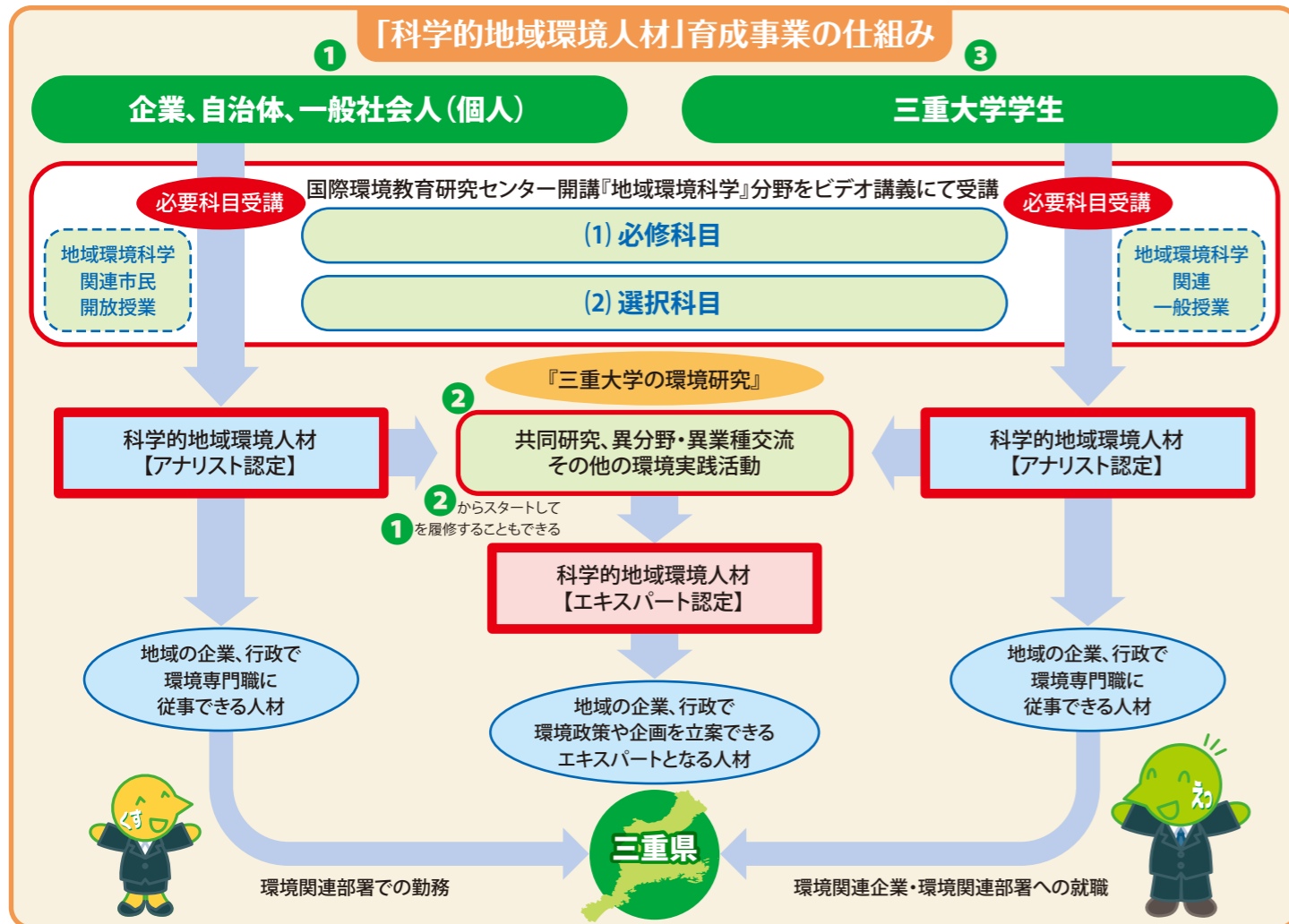
速報 文部科学省等支援プログラム

平成28年度～平成30年度 文部科学省国立大学法人運営費交付金機能強化経費

「地域に必要とされる「科学的地域環境人材」育成のための社会連携・教育・研究体制の確立」

本事業は、学術的立場から地域の環境を保全し、地域に多く賦存する環境価値を利用して地域の活性化を図ることを主な目的に、企業・自治体の環境担当者あるいは社会人、さらに三重大学学生を対象として地域で活躍できる環境人材を育成します。

過去に公害問題を経験した四日市を擁する三重県においては、地域及び企業とともに環境に対する高い意識が根付いており、さらに国の地球温暖化対策強化に伴い、この分野の専門的知識を有する人材が必要とされています。



三重大学が今まで全学で積み上げ、多くのプラスの外部評価を受けてきた環境分野での取組みの実績と組織を活用し、さらに社会連携・教育・研究体制を確立して、環境保全と地域振興を志向した「科学的地域環境人材」(アナリスト資格・エキスパート資格)を育成する体制を確立し、三重県内はもとより同様な仕組みの他地域への普及と協働を目指します。



企業・自治体の皆様には、組織として参加いただく無料法人会員としての「連携パートナー」の仕組みもあります。

*1: ESD/持続可能な開発のための教育(Education for Sustainable Development)の略語
 *2: ESG/環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の頭文字を取ったもの
 *3: SDGs/Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標

詳しくはWebで

サイレッツ

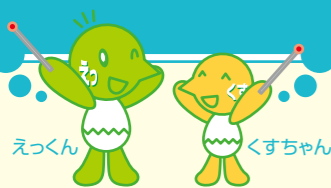
検索

<https://scienv.mie-u.ac.jp/>



気になるNEWS

ニュース



11月

14日 忍者文化研究プロジェクト2017 (ベトナム)

忍者文化研究プロジェクト レクチャー・デモンストレーション2017を、ホーチミン市師範大学および国際交流基金ベトナム日本文化交流センター協力のもと開催し、山田雄司人文学部教授、吉丸雄哉人文学部准教授、川上仁一社会連携特任教授が講演・実演を行いました。どの会場でも熱気にあふれていて、ベトナムでの忍者人気の高さを感じます。



23日 市民公開講座 上手に付き合おう「バイキン」と「クスリ」

会場の体験型ブースでは、顕微鏡で細菌を観察したり、蛍光塗料を用いて手洗いがしっかりとできているかを確認したり、正しいマスクの着用方法や咳をするときのエチケット等のクイズが用意され、参加者は感染症予防に対する理解を深めました。

幅広い年代の参加者が、体験型ブースでは楽しく、講演では熱心に学ぶ姿が印象的でした。



12月 2日

企業研究会 in 東紀州

東紀州サテライト及びキャリア支援センター主催による「企業研究会in東紀州」を開催し、31名の学生が参加しました。

今回の企画は、学生自らが東紀州を訪れ、地域の魅力や地元企業の魅力を知り、その地域で働くこと、暮らすこともイメージできるよう、企画しました。



7日 桂吉坊特別落語講座

講師の上方落語家桂吉坊さんは平成25年から毎年度開講してくださっています。29年度は、上方落語「犬の目」の上演後、「落語の哲学」というテーマで田中綾乃人文学部准教授との対談が行われました。平日にもかかわらず学内外から70名を超える来場者があり、多くの笑顔で溢れるひと時となりました。



10日 みえ地震対策の日シンポジウム (鳥羽市)

今回のシンポジウムでは、今後の私たちの地震・津波対策のあり方を改めて考え、災害に強い地域づくりを進めるため、「過去の震災から学び、未来に活かす」をテーマとして、東日本大震災、熊本地震等に関する講演や体験談に加え、地震の体験者、郷土史家、行政関係者によるパネルディスカッションが行われました。



1月 14日

みえアカデミックセミナー2017 移動講座

尾鷲市立中央公民館において、移動講座「感染症知らずの毎日過ごすには？」を開催し、51名の参加がありました。

この移動講座では、三重県内の各大学・学校の中から地域の学習ニーズにあったテーマを選定し、県内各地で出張講座を開催しています。



27日 第5回三重CST(コア・サイエンス・ティーチャー)シンポジウム

このプログラムは、平成24～27年度まで(独)科学技術振興機構(JST)の支援を受けて実施した「理数系教員(CST)養成拠点構築プログラム」を継続しているものです。今回が第5回目のシンポジウムとなり、CSTをはじめとする小中学校教員、教育委員会、協力企業などから66名が参加しました。



2月 14日

三重大学弓道部への学長表彰式

三重大学弓道部は、平成29年11月19日、20日に開催された第41回全日本学生弓道女子王座決定戦で準優勝し、平成27年度からの一連の活動内容と大会結果が評価され、学長表彰受賞に至りました。



3月 5日、8日

平成30年三重大学「学内企業説明会」

平成31年3月卒業・修了予定の学生を対象に、企業680社(170社/日)が参加し、延べ3,797名の学生が参加しました。

学生は真剣な面持ちで、積極的に人事担当者へ質問し、熱心にメモを取っていました。

また、141社の県内企業がブースを構え、それぞれの魅力をPRしました。



24日 三重大学シンポジウム「日本囲碁界の過去・現在・未来」

囲碁棋士の高尾紳路九段を特別招待し、その実兄である三重大学教員の高尾善希准教授の2名を中心に、日本の囲碁文化を参加者と一緒に考えることを目的に開催しました。

第1部では高尾准教授から研究発表が行われ、第2部では高尾九段と駒田学長、会場選出の5名による多面打ちが行われました。対戦者の方々は悩みながらも楽しんで対局を行っていました。



「三重大学伊勢志摩サテライト海女研究センター」を海の博物館内に開設

三重大学では、他大学の研究者や自治体の職員・博物館の職員等、多くの関係者の方々と海女に関する研究活動を展開してきました。

今回のセンター設置は、海女振興事業の中核施設である「海の博物館」を活動拠点に位置付けるものとしたものです。



29日 大学院教育学研究科が独立行政法人教職員支援機構と連携協定を締結

この協定は、両機関が相互に連携・協力し、教員養成及び研修の充実並びに高度化に寄与することを目的とするものです。

今回の協定締結により、双方が連携し、三重県における教員養成、教員研修指導者の資質向上の高度化に向けて取り組むこととなります。



4月 6日

留学生へ自転車譲渡

環境ISO学生委員会は、継続的環境活動(3R活動:リユース・リデュース・リサイクル)の一環として、学内に放置されてきた自転車を法的手続きを経て回収・点検・修理し留学生への支援活動として無償譲渡する活動を行っています。今回の譲渡は新しく入学される留学生から希望者を募り、抽選にて選ばれた20名に対し、防犯登録等、事務手続き済みの自転車が贈呈されました。



20日 生物資源学研究科が鳥羽水族館と産学連携に関する包括協定を締結

三重大学と鳥羽水族館は、1955年に水族館が設立されて間もない頃から現在まで、様々な形で海洋生物を中心とした共同研究や調査等学術交流を実施しており、その成果としての共著論文も多数発表されてきました。

今回の協定締結により、相互連携による今後の一層の発展が期待されます。



21日 三重大学・福井大学による高大連携「科学探究プロジェクト」

三重大学工学部電気電子情報棟において「ようこそ不思議なLEDの世界へ～LED実験を体験しよう～」が開催されました。

当日は、三重県立松阪高等学校より生徒6名が参加し、教授によるLEDの仕組みの説明の後、LEDライトの作成やLEDライトと太陽電池を使った光通信の実験などに取り組みました。



5月 23日

「藤堂高虎と津のまちづくり」をテーマに前葉泰幸 津市長が講義をされました

「日本理解特殊講義(三重の歴史と文化)」にて、近世の三重を担った人々「藤堂高虎と津のまちづくり」をテーマに講義をされました。当日は約60名の聴講者が熱心に耳を傾け、質疑応答では、学生からの医療や教育などの質問にも丁寧にお答えいただきました。



27日 トヨタ・ソーシャル・フェス in 松名瀬 2018(春)開催

伊勢湾最大となる松名瀬干潟を、三重県初のラムサール条約への登録を目指した活動の一環として、350名が集まり、海岸清掃と干潟の生物多様性学習を実施しました。登録できる日に向けて引き続き10月27日(土)に開催しますので、多くの参加をお待ちしています。





三重大OBにピカ1輝く
企業を誇るピカ1



● 名称/株式会社 松阪鉄工所
● 所在地/本社工場
〒514-0817
三重県津市高茶屋小森町1814番地
● 代表者/代表取締役社長 加藤 賢治
● 事業内容/作業工具、機器類開発・製造、工作機械用治具等設計・製造
● 経営理念/・価値ある商品・サービスを創造し、豊かな社会の実現に貢献する
・仕事を通じてお互いが豊かになり、人として光り輝く舞台をつくる
【URL】<http://www.mcccorp.co.jp>

ピカ1 100年を超えるモノづくりへの熱い思い!

初の国内生産、トップシェア

松阪鉄工所は1916年に創業した、創業100年を超える老舗の作業工具・工作機械用治具等の開発・製造会社です。開発・設計の段階から、製造、組立、検査、出荷、そしてアフターサービスまでの全てを手掛ける一貫生産を行っています。1928年に日本で初めてボルトクリップ※1、パイプレンチを製造し、1967年には建物の水道や電線配管等に使用されている塩ビ管(塩化ビニル管)を片手でハサミのように楽に切断できる「エンピカッタ」を世界で初めて開発しました。このエンピカッタは現在も国内トップシェアを誇っており、三重県から世界を相手にモノづくりを行っている企業です。

※1: ボルトクリップ/鋼線や丸棒などの切断を行うための工具です



▲昭和40年代製造のボルトクリップ



▲松阪鉄工所が開発し、国内トップシェアを誇る「エンピカッタ」



▲工場では熟練の職人により1つ1つの部品が丁寧に組み上げられます

使用する人の要望に応え、長年愛用される製品に

加藤社長に松阪鉄工所が国内トップシェアを誇るエンピカッタの開発経緯について伺うと、それまでの工具はヨーロッパ等の海外工具メーカーからの輸入品が多く、手の大きさや体格の異なる日本人の職人さんには使用し辛いものでした。そのような状況の中、ノコギリでの切断時には切りくずが発生してしまう塩ビ管をハサミのようなもので簡単に切りたいという要望に応えようとエンピカッタの開発に至りました。海外メーカーが強い工具市場において、日本で開発され世界へ普及した工具は非常に珍しいそうです。

現在でも松阪鉄工所の社風として、一貫生産を行っていることにより、会社全体で社員のモノづくりへのこだわりが強く、使用者の方に長く愛用できるモノを作りたいという思いを持っています。

また、長く経営を続けていくには伝統と革新のバランスが大事という話もありました。現在も伝統ある工具の製造を行う傍ら、最新の工作機械に取り付ける治具※2の設計・製造も行うなど、伝統と革新のバランスを大事にしていると感じました。

※2: 治具/工作物を固定するとともに切削工具などの制御、案内をする装置です



▲新たに設計・製造された治具が工作機械に取り付けられます



▲(左より)加藤社長、三重大卒業生の浅生さん

三重大OBにお聞きしました!

三重大工学部機械工学科卒業生の浅生さんに松阪鉄工所での仕事について話を伺いました。浅生さんが松阪鉄工所に就職するきっかけとなったのは、就職活動を行う際に、地元の三重県で働きたいという思いと、設計の仕事がしてみたいと思いがあったこと。また、松阪鉄工所が通常行っている集団での工場見学以外に、別の日に1人での見学をさせてくれたことも大きく、1対1で社内を案内、説明をもらうことで、より詳しく松阪鉄工所について知ることができ、見学時の雰囲気もとても良かったことです。

就職して4年目となる現在は、治具の設計に携わっており、使用者からの依頼に基づいてオーダーメイドで設計を行っています。「自分が設計したものが松阪鉄工所内で製造・組立・検査を経て形となって完成した時は泣きそうになるくらい嬉しい。設計・製造には予期せぬトラブルもあって苦勞も多いが、実際に治具を使用したお客様の声を聞くことができるところが魅力であり、仕事のモチベーションになっている」と、語っていました。

浅生さんに加藤社長の印象について伺うと、「工具について詳しく、とても勉強熱心」。加藤社長のモノづくりに対する熱い思いが伝わってきました。

全学硬式テニス部

活動は ● 日時/毎週火曜日・水曜日・金曜日 16:30~18:30
土曜日(男子9:30~17:00)(女子9:30~12:30)
● 活動場所/学内テニスコート



こんにちは!全学硬式テニス部です!私たちは、男女ともに東海リーグに所属しており、男子は1部リーグ昇格、女子は2部リーグ昇格を目指しています。

週4日全体練習をしていますが、全体練習の時間以外にも自主練に励んでいる部員が多数いて、各自の目標の実現、部としての目標の実現に向けて懸命に努力しています。皆でアドバイスしあったり、時にはライバルとしてお互いに切磋琢磨しながら日々成長しています。長期休みには合宿も行っており、集中的にテニスを行い、ミーティングも行うことでチームとしてのレベルアップも図っています。練習中と練習外のON.OFFをきちんとしており、練習中は集中して厳しく練習に取り組み、練習外は様々な学部から集まったユニークなメンバー間で楽しく過ごしています。

インターネット上の掲示板、Twitterで私達の活動記録が上がっていますので、是非ご覧ください。



代表:男子主将 篠永 克哉 (教育学部 3年)

女子主将 北村 桃子 (教育学部 3年)

【掲示板 URL】<http://6232.teacup.com/mieutennisclub/bbs>
【Twitter URL】<https://twitter.com/mieutt>



ギタークラブ

活動は ● 日時/毎週月曜日・水曜日 18:00~20:00
土曜日 13:00~17:00
● 活動場所/文科系サークル共用施設D室(課外音楽棟D室)



こんにちは、ギタークラブです。私たちはクラシックギターを用いた合奏を中心に活動していて、夏と冬の年に2回ある演奏会に向けて練習に取り組んでいます。クラシックギターにはいくつか種類があり、高い音を奏でるアルトギターや、低い音を奏でるバスギター、コントラバスギターなどがあり、それぞれのギターの特徴を活かした演奏ができるように日々練習しています!

部員は現在23名で、和気あいあいと活動しています。また、現在の部員はほぼ全員ギター初心者で、ギターに触ったことすらない人も多かったのですが、皆ギターが弾けるようになってるので初心者の方でも安心して入部できます。

ギタークラブでは、演奏会だけでなく、合宿や、ソロギターを披露する会、バンドを組んで披露する会など、イベントが盛りだくさんです!詳しくはHPやtwitterに情報を載せているので、ぜひご覧ください!



代表 勝田 大雅 (人文学部 3年)

【HP URL】<http://www.geocities.co.jp/CollegeLife-Cafe/5625/indextrue.html>
【Twitter URL】https://twitter.com/mie_guitarclub

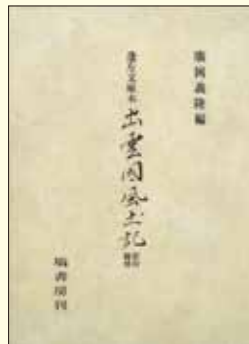




『幼児期における空想世界に対する認識の発達』

想像豊かな子どもの遊びの背景にある空想世界。その認識発達をサンタクロースやお化け、空想の友達など身近な架空の存在を取り上げながら14の調査研究で実証的に解明した書。子どものものの見方・考え方を知らするためのヒントが得られるはず。

単著／富田 昌平 (教育学部・教授)
定価／8,500円(税抜)
発行／風間書房
頁数／318ページ
ISBN／978-4-7599-2196-0



『蓬左文庫本出雲國風土記 影印・翻刻』

『出雲國風土記』の江戸期善本の一冊である名古屋蓬左文庫本を影印に付し、翻刻・解説した書。この写本は倉野本・細川家本と並び、日御碕本の親本です。岩波文庫本刊行に向けての基礎作業の一環としての成果です。

単著／廣岡 義隆 (人文学部・名誉教授)
定価／13,000円(税抜)
発行／塙書房
頁数／348ページ
ISBN／978-4-8273-0129-8

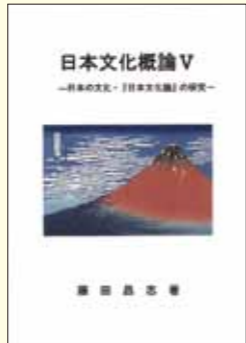
本の紹介



『「親米」日本の誕生』

日本がアメリカ追従であることは疑いようがない。それは政治や経済の問題であると同時に、文化の問題でもある。家電、チューイングガム、チョコレート、自動車から生活改善運動までアメリカと日本とのねじれた複雑な関係を問う。

単著／森 正人 (人文学部・教授)
定価／1,700円(税抜)
発行／株式会社KADOKAWA
頁数／256ページ
ISBN／978-4-04-703609-3



『日本文化概論V -日本の文化・「日本文化論」の研究-』

拙著『日本文化概論』I～IVを継ぐもので、日本語非母語話者、日本語母語話者両方が日本の文化、「日本文化論」の基礎を理解するために、明晰な日本語で書くように努めました。本書によって、日本の文化、「日本文化論」が他文化、世界との関係で成り立っていたことが理解できます。昔も今も、日本には「排外」と「排外」が交錯しています。

単著／藤田 昌志 (地域人材教育開発機構・准教授)
頁数／55ページ
附属図書館にて閲覧・貸出可



『Pragmatic Aspects of Scalar Modifiers』

本書は日本語や英語の「スケール修飾語」(例:「ちょっと」, more than)の意味・機能に焦点を当て、物の計量や比較の際に使われるスケール構造が、話者の感情や会話の流れを調整する際にも、平行した形で使われているということを、意味の多次元性の観点から明らかにしている。

単著／澤田 治 (人文学部・准教授)
定価／イギリス£30
発行／Oxford University Press
頁数／272ページ
ISBN／978-0-19-871423-1



『織田信長 近代の胎動』

天下統一をめざしたのは、織田信長だけだった。1573年に信長が將軍足利義昭を追放しても、室町幕府は滅亡していなかった。本書は、通説への批判的検討を通じて、本能寺の変を誘発させた信長の政治改革の本質に迫る。

単著／藤田 達生 (教育学部・教授)
定価／800円(税抜)
発行／山川出版社
頁数／120ページ
ISBN／978-4-634-54845-9



『薩長盟約 立役者は誰だ?』

徳川幕府打倒に最も貢献した薩長盟約(同盟)の立役者は誰かという未解決問題を考察した。従来の歴史書には見られない「貢献性の判定基準」を採用して、木戸孝允、坂本龍馬、西郷隆盛の三人の中から立役者を特定した。

単著／山岡 悦郎 (人文学部・名誉教授)
定価／1,800円(税抜)
発行／敬文舎
頁数／286ページ
ISBN／978-4-906822-77-5



第21回 環境コミュニケーション大賞 『環境配慮促進法特定事業者賞』

●2018年2月21日

「第21回環境コミュニケーション大賞」(主催:環境省、一般財団法人地球・人間環境フォーラム)の【環境報告書部門】において、本学が「環境配慮促進法特定事業者賞」を受賞しました。「環境コミュニケーション大賞」は、優れた環境報告書等やテレビ環境CMを表彰することにより、事業者等の環境経営及び環境コミュニケーションへの取組を促進するとともに、環境情報開示の質の向上を図ることを目的とする表彰制度です。本学は、同賞を5年連続で受賞しており、今回で9回目の受賞となります。



平成30年 春の叙勲受章者

- 瑞宝単光章(看護業務功労)
元三重大学医学部附属病院・副看護部長
小野 幸子

「瑞宝章」は
公的な業務に長年従事して
功労を積み重ねた人に
贈られるんだよ



教職員表彰

第17回三重県文化賞を受賞 (2018.4.27)

医学系研究科 大隈 貞嗣 助教

三重県では、三重県の文化振興に貢献し、その活動や功績が優れた個人・団体を讃えることにより、優れた活動や功績を広く県民の皆さんに知っていただくとともに、より高い自己研鑽に努めていただく目標にもなるよう「三重県文化賞」という顕彰制度を設けています。今回大隈助教は文化新人賞を受賞されました。



受賞者	受賞名(受賞日)
医学部附属病院 山崎 大輔 薬剤師	IDWeek 2017 IDWeek International Investigator Award (2017.10.6)
工学研究科 金子 聡 教授	Asia Pacific Society for Materials Research Research Award 2018 (2018.2.11)
生物資源学研究科 梅川 碧里 助教	公益財団法人 日本農芸化学会 農芸化学若手女性研究者賞 (2018.3.15)
教育学部 奥村 晴彦 特任教授	2018年度日本数学会出版賞 (2018.3.19)
生物資源学研究科 松村 直人 教授	森林計画学賞 (2018.3.29)
工学研究科 八谷 巖 准教授	公益財団法人 長瀬科学技術振興財団 平成30年度長瀬研究振興賞 (2018.4.26)
教育学部 森川 孝太郎 准教授	RMN MUSIC Call For Piano Recording Winners (2018.4.30)
生物資源学研究科 亀岡 孝治 教授	日本農業工学会賞 (2018.5.15)
教育学部 新田 貴士 教授	第13回電子情報通信学会 通信ソサイエティ論文賞 (ComEX Best Letter Award) (2018.5.18)
教養教育院 陳 奕廷 特任講師	国立国語研究所 若手研究者奨励賞 (2018.5.22)
工学研究科 伊藤 敬人 特任教授	平成29年度高分子科学功績賞 (2018.5.24)

学生表彰

※()内は指導教員
学年は受賞当時

日本分析化学会中部支部
分析化学中部夏期セミナー
優秀ポスター発表賞(2017.8.30)
大学院工学研究科(博士前期課程)2年 山本 達彦
(金子 聡 教授)



電気学会東海支部
優秀論文発表賞B賞
(2018.1.23)
大学院工学研究科(博士前期課程)2年 朝倉 大智
(成瀬 央 教授)



日本分析化学会中部支部
分析化学中部夏期セミナー
優秀ポスター発表賞(2017.8.30)
大学院工学研究科(博士前期課程)2年 江川 有輝
(金子 聡 教授)



IEEE(米国電気電子学会)名古屋支部
学生奨励賞
(2018.1.23)
大学院工学研究科(博士前期課程)2年 伊藤 大輝
(太田 義勝 教授)



13th IUPAC International Conference on
Novel Materials and their Synthesis
Excellent Poster Prize(2017.10.19)
大学院工学研究科(博士前期課程)1年 野々目 美菜
(勝又 英之 准教授)



日本産業技術教育学会
第12回発明・工夫作品コンテスト 奨励賞
(2018.1.31)
教育学部4年 広瀬 泰弘
(松岡 守 教授)



第7回中部森林学会
中部森林学会学生発表奨励賞(2017.10.21)
大学院生物資源学研究科(博士前期課程)2年
TOMASI JUNIOR TAWATATAU SOVEA
(板谷 明美 准教授)



日本産業技術教育学会
第12回発明・工夫作品コンテスト 奨励賞
(2018.1.31)
教育学部3年 雪岡 比杜志
(松岡 守 教授)



平成29年度日本水産学会中部支部大会
優秀ポスター発表賞
(2017.12.2)
生物資源学部4年 大和 礼奈
(吉松 隆夫 教授)



日本設備管理学会東海支部
学生研究発表会最優秀奨励賞
(2018.3.2)
大学院生物資源学研究科(博士前期課程)1年 高橋 拓海
(陳山 鵬 教授)



地域イノベーション学会第7回大会
優秀ポスター賞
(2017.12.2)
大学院地域イノベーション学研究科(博士前期課程)2年 山口 裕子
(加賀谷 安章 准教授)



農業食料工学会関西支部
学生ベストプレゼンテーション賞
(2018.3.5)
生物資源学部4年 鈴木 勇一郎
(王 秀斎 教授)



日本接着学会中部支部
第16回産官学接着若手フォーラム
ベストポスター賞(2017.12.8)
工学部4年 宮田 淳史
(藤井 義久 准教授、鳥飼 直也 教授)



ライフサポート学会奨励賞
(2018.3.10)
大学院工学研究科(博士前期課程)2年 井上 綱太
(宮本 啓一 教授)



平成29年度刑事政策に関する懸賞論文論題
「児童虐待防止に向けた対策について」
優秀賞(2018.1.18)
人文学部3年 赤松 千種
(田中 亜紀子 教授)



第129回日本森林学会大会
学生ポスター賞
(2018.3.27)
大学院生物資源学研究科(博士後期課程)1年 中田 知沙
(板谷 明美 准教授)



平成29年度刑事政策に関する懸賞論文論題
「児童虐待防止に向けた対策について」
佳作(2018.1.18)
人文学部3年 久田 光桜
(田中 亜紀子 教授)



夏季休業
8/13・14・15
三重大学(医学部附属病院を除く)では、夏季一斉休業日を含む8月13日(月)・14日(火)・15日(水)の間、休業とさせていただきます。ご理解の程よろしく申し上げます。

クラブ・サークル表彰



ヨット部
2018年度 春季中部学生ヨット選手権大会
国際スナイプ級
団体1位
(2018.3.25)
三重大学ヨット部は3艇を出艇し、1位を獲得しました。



全学硬式テニス部
第67回東海地区
国立大学体育大会 優勝
(2018.5.26~27)
新チームで挑む初の団体戦でアベック優勝を果たしました。

市民開放授業

- 平成30年度後期三重大学市民開放授業
○開放授業科目○
(人文学部) ドイツの言語B、中国語作文B、中国語会話B、中国の文学F、フランス文学演習H、日本考古学特講D、日本考古学特講B、特殊講義協同組合論
(教育学部) 被服構成学、被服実習I、日本語教授法
(工学部) 西洋・近代建築史、建築基礎構造
(生物資源学部) 農林学総論、国際農業開発学、景観設計論、地球環境学概論、生態圏循環学、農地工学、国際環境保全学(英語)
(国際交流センター) 初級集中基礎Ⅱ総合B、初級集中基礎Ⅲ総合B、中級I読解・作文B、中級Ⅱ読解・作文B
(教養教育院) 防災論(自然災害と防災・減災)、英語Ⅱ発展E、異文化理解I演習(ドイツ語A)b、地域学(オセアニアの教育事情)、日本理解特殊講義S(起業マインドの醸成)、医学医療D(暮らしと看護)、比較文化論(「日本人論」の批評)、現代社会理解特殊講義(MIEUポイント)、地域学(オセアニアの教育事情)、社会学B(社会問題の社会学)
○開催期間○ 2018年後期の講義期間 平成30年10月1日(月)~平成31年2月1日(金)
○募集定員○ 1科目2名~10名(授業科目により異なります。)
○受講料○ 1科目9,400円(一部の科目11,500円)
○受講資格○ ありません。ただし、受講条件や授業の概要を確認し、お申し込みください。
○受講申込受付期間○ 平成30年9月3日(月)~9月10日(月)
○問合せ○ 学務部教務チーム / ☎059-231-6544
または、各学部学務担当等(募集要項参照)
URL http://www.mie-u.ac.jp/neighborhood/extension.html
※詳細は上記URLをご確認ください。

●平成30年度生物資源学部特別教育プログラム

- 開放授業科目○
●農学関連特別プログラム(後期コース)
植物育種学、園芸植物生理学、食用作物学、昆虫学、植物病理学、フィールドサイエンスセンター農場実習Ⅲ
●森林関連特別プログラム(後期コース)
森林育成学、森林情報学、樹木生理化学、治水砂防・森林保全学、森林・緑環境計画学、森林生物学実験
●水産関連特別プログラム(後期コース)
分子生態学、海事概論、水族発生学、藻類学、浮遊生物学、水産生物学実習
○開催期間○ 2018年後期の講義期間 ○募集定員○ 各プログラム若干名
○受講料○ 入学検定料:9,800円 入学科:28,200円
授業料:1科目9,400円、後期コース56,400円
○受講資格○ 学校教育法第90条第1項の規程により大学に入学することができる者で、教授会が当該プログラムを履修するに十分な学力があると認められた。
○受講申込受付期間○ 平成30年8月6日(月)~8月20日(月)
○問合せ○ 生物資源学研究科チーム学務担当 / ☎059-231-9631、9633、9735
URL http://www.bio.mie-u.ac.jp/admission/specific_program/
※詳細は上記URLをご確認ください。

公開講座・シンポジウムなど

- 三重大学地域拠点サテライト連携事業
伊賀サテライト伊賀連携フィールド2018年度前期
市民講座「忍者・忍術学講座:江戸の忍者戦国の忍者」
○会場○ ハイピア伊賀3階 コミュニティ情報プラザホール
○受講料・定員○ 無料(申込不要)・自由参加 ○受講対象者○ 市民一般
○問合せ○ 人文学部チーム総務担当 / ☎059-231-6991
E-mail : info-hum@ab.mie-u.ac.jp
■伊賀と甲賀の一揆について
○講師○ 呉座勇一(国際日本文化研究センター・助教)
○開催日○ 平成30年7月21日(土)10:30~12:00
■小天狗清蔵についてーその活動と天正伊賀の乱後の復興ー
○講師○ 瀧川和也(三重県総合博物館展示交流事業課課長)
○開催日○ 平成30年8月18日(土)10:30~12:00
■徳川幕府伊賀者の成立と展開
○講師○ 高尾善希(三重大学国際忍者研究センター・准教授)
○開催日○ 平成30年9月15日(土)10:30~12:00
●?「発見塾」(はてなはっけんじゅく)
○会場○ ①②④⑤津リージョンプラザ津図書館視聴覚室、③久居総合福祉会館
○受講料・定員○ 無料(申込不要)・自由参加 ○受講対象者○ 市民一般
○問合せ○ 附属図書館総務担当 / ☎059-231-9032
E-mail : lib-kikaku@ab.mie-u.ac.jp
URL http://www.mie-u.ac.jp/hakugaku/hakken/
①これからもうなぎを美味しく食べるにはーニホンウナギとの古くて新しいつきあい方を考えるー
○講師○ 淀 太我(生物資源学研究科・准教授)
○開催日○ 平成30年7月21日(土)13:30~15:00
②人口減少時代に地方都市はどう変わるか?ー親子と職を巡る市内住み替えの視点からー
○講師○ 浦山益郎(工学研究科・教授) ○開催日○ 平成30年9月29日(土)13:30~15:00
③「漢方・東洋医学の知恵を、上手に生かした健康ライフ」
○講師○ 高村光幸(医学部附属病院漢方外来・助教)
○開催日○ 平成30年11月17日(土)13:30~15:00
④感染症知らずの毎日を過ごすには?
○講師○ 田辺正樹(医学部附属病院感染制御部部長・病院教授)、
新居晶恵(医学部附属病院感染制御部・感染管理副看護師長)
○開催日○ 平成31年1月26日(土)13:30~15:00
⑤超入門 国宝専修寺御影堂如来堂の面白さ
○講師○ 菅原洋一(三重大学名誉教授)
○開催日○ 平成31年3月23日(土)13:30~15:00

第3回三重大学大阪シンポジウム グローカルに貢献する三重大学の先進研究

開催日 平成30年7月27日(金) 13:00~17:00(交流会17:30~19:00/会費制)
会場 大阪大学中之島センター10階 佐治敬三メモリアルホール
参加費・定員 無料(要申込) 自由参加 受講対象者 市民一般
申込方法 メールまたはFAX 申込期間 平成30年7月20日(金)
申込・問合せ 社会連携チーム/059-231-9078 FAX 059-231-9047
E-mail: osakasympo@crc.mie-u.ac.jp
URL http://www.opri.mie-u.ac.jp/2018/07/3.html
※詳細はHPまたはQRコードからご確認ください。



みえアカデミックセミナー2018 今、健康を守るための栄養学

講師 森田明美(医学系研究科・准教授)
開催日 平成30年7月28日(土) 13:30~
会場 三重県文化会館1階 レセプションルーム
受講料・定員 無料(要申込) ※先着順。満席になり次第締切。
受講対象者 市民一般
申込方法 三重県生涯学習センター窓口、電話・FAX、郵送、E-mail、またはHPから
申込・問合せ 三重県生涯学習センター/059-233-1151 FAX 059-233-1155
E-mail: manabi-kouza@center.mie.or.jp
URL http://www.center-mie.or.jp/manabi/

肝がん撲滅運動記念講演会「市民公開講座」 大切にしよう!あなたの肝臓 一糖尿病や脂肪肝も危険!!

開催日 平成30年7月28日(土) 会場 三重大学医学部総合医学教育棟 第三講義室
受講料・定員 無料(申込不要) 300名
受講対象者 市民一般ならびに患者、医療従事者
問合せ 三重大学医学部附属病院肝炎相談支援センター/059-231-5756

- 特別講演「がんは「運」である?」
講師 仲野 徹(大阪大学大学院医学系研究科病理学・教授)
講演1 講師 小倉 英(三重大学医学部附属病院消化器・肝臓内科・助教)
講演2 講師 杉本龍亮(三重大学医学部附属病院消化器・肝臓内科・助教)

第36回三重大学工学部建築学科「建築展2018」

受講料 無料(申込不要) 受講対象者 建築に興味のある学生・市民・専門家
問合せ 工学部 浅野 聡/059-231-9441
①「建築展2018」卒業設計+修士設計展
開催日 平成30年8月1日(水)~8月5日(日) 9:30~17:00
※1日は13:00より開催、5日は15:00終了
会場 三重県立美術館 県民ギャラリー 定員 自由参加
②建築展特別講演会「進化する箱の家 1995~2018」
講師 難波和彦(東京大学名誉教授、難波和彦+界工作舎代表)
開催日 平成30年8月4日(土) 13:30~15:30
会場 三重県立美術館 講堂 定員 150名(当日先着順)

第21回リフレッシュ理科教室「不思議な光の世界」 同時開催:親のための理科教室

講師 三重大学大学院工学研究科教員他
開催日 平成30年8月25日(土) ※全2回同日開催
1回目10:00~11:30、2回目13:00~14:30
会場 三重大学講堂小ホール 受講料・定員 無料(要申込)・120名(1回につき60名)
受講対象者 小学3年生~中学生
申込方法 往復はがき、Web申込 申込期間 平成30年7月2日~7月30日
工学部 藤原裕司/E-mail: fujiwara@phen.mie-u.ac.jp
URL http://www.ne.phen.mie-u.ac.jp/user/RefreshRika/
※詳細は決定次第HPに掲載予定

生物資源学研究科 社会連携・地域連携推進室合同企画 第1回環境農林水産フォーラムin伊賀

講師 三重大学生物資源学研究科教員 開催日 平成30年9月3日(月)
会場 伊賀研究拠点 伊賀サテライト ゆめテクノ伊賀(テクノホール)
受講料・定員 無料(要申込)・60名 受講対象者 企業・団体関係者、市民一般
申込方法 メール・郵送・FAX 申込期間 8月27日迄
申込・問合せ 生物資源学研究科チーム/FAX 059-231-9634
E-mail: renkei@bio.mie-u.ac.jp
URL http://www.bio.mie-u.ac.jp/ ※詳細は決定次第HPに掲載予定

三重大サイエンスカフェ

時間 15:00~17:00(開場14:30) 会場 津駅前 伊勢門本店[EBIRO] ソニアビル1F
受講料・定員 500円ドリンク付(要申込)・先着40席限定(定員になり次第締切)
受講対象者 市民一般 申込方法 FAXまたはE-mail
申込・問合せ 研究推進チーム/059-231-9704 FAX 059-231-9705
E-mail: ken-sokatu@ab.mie-u.ac.jp

【開催予定】

第23回 講師 吉丸雄哉(人文学部・准教授) 開催日 平成30年9月4日(火)
第24回 講師 宮崎多恵子(生物資源学研究科・准教授) 開催日 平成30年11月27日(火)
第25回 講師 増田智恵(教育学部・教授) 開催日 平成31年3月5日(火)
※講演者は事情により変更する場合がありますのでご了承ください。

生物資源学部創立30周年記念イベント

講師 天野秀臣(三重大学名誉教授)、梅川逸人(生物資源学研究科長)
開催日 平成30年9月8日(土) 14:00~
会場 記念講演会:生物資源学部大講義室、祝賀会:生協第一食堂
参加料・定員 記念企画:無料(申込不要)・200名、祝賀会:3000円
参加対象者 三重大学農学部・水産学部・生物資源学部・生物資源学研究科の卒業生、市民一般
申込方法 メール・郵送・FAX 申込期間 8月31日迄
問合せ 生物資源学研究科チーム総務担当/059-231-9626 FAX 059-231-9634
E-mail: bio-somu@ab.mie-u.ac.jp
URL http://www.bio.mie-u.ac.jp/ ※詳細は決定次第HPに掲載予定

人文学部「公開講座」・「公開ゼミ」

会場 三重大学人文学部 受講対象者 市民一般
申込方法 電話、FAX、E-mail 申込期間 8月1日~各開講日の5日前まで
申込・問合せ 人文学部チーム総務担当/059-231-6991,9196 FAX 059-231-9198
E-mail: info-hum@ab.mie-u.ac.jp
※詳細については、決定次第、人文学部HPに掲載予定です。

公開講座 受講料・定員 無料・自由参加(要申込)

- ①創作メルヘンの誕生--「もう一つの世界」に込められたもの 講師 菅 利恵(人文学部・准教授)
開催日 平成30年9月10日(月) 10:30~12:00
②前近代ヨーロッパにおけるカーニバル 講師 村上直樹(人文学部・教授)
開催日 平成30年9月27日(木) 14:40~16:10
③言語コミュニケーションにおける論理と推論について 講師 澤田 治(人文学部・准教授)
開催日 平成30年10月2日(火) 10:30~12:00
④個人情報保護法と地域活動における対応 講師 岩崎恭彦(人文学部・准教授)
開催日 平成30年10月4日(木) 13:00~14:30
⑤農産物貿易自由化による弊害を考える--資源・環境問題の側面に注目して 講師 森 久綱(人文学部・教授)
開催日 平成30年10月10日(水) 18:00~19:30
⑥人生に「正しい選択」は存在するか 講師 薄井尚樹(人文学部・准教授)
開催日 平成30年12月5日(水) 16:20~17:50

公開ゼミ 受講料・定員 無料・原則20名(定員まで先着順に受け付けます)

- ①国立大学がかかえる諸問題--市民との協力・連携のあり方 講師 前田定孝(人文学部・准教授)
開催日 平成30年10月17日(水)、10月24日(水) / 19:00~20:30
②前近代中国における権力を握った女性 講師 酒井恵子(人文学部・准教授)
開催日 平成30年10月19日(金)、10月26日(金) / 13:00~14:30

パープルリボン2018 in 津 ウォーク&セミナー

開催日 平成30年9月16日(日)
会場 第一部【ウォーク】三重大学構内、第二部【セミナー】三重大学講堂(三翠ホール)
受講料・定員 無料(申込不要)・先着各400名 受講対象者 市民一般
問合せ 医学部附属病院肝胆膵・移植外科学/TEL 059-232-1111(代)
URL http://www.hosp.mie-u.ac.jp/pancan/index.html
※詳細は決定次第URLに掲載予定

三重大学医学部附属病院リウマチ・膠原病センター 開設1周年記念市民公開講座「リウマチ、膠原病ってどんな病気?」

講師 中島亜矢子(医学部・教授)、山中 寿(東京女子医科大学・教授)
開催日 平成30年9月17日(月・祝) 会場 三重県文化会館 小ホール
受講料・定員 無料(要申込)・250名
受講対象者 リウマチ膠原病性疾患に興味のある市民および患者さん
申込方法 郵便・メール 申込期間 8月31日迄
申込・問合せ 医学部附属病院リウマチ・膠原病センター/059-231-5729
E-mail: mierheum@clin.medic.mie-u.ac.jp

生物資源学部 公開講座「次世代農業のための農業工学」

講師 三重大学生物資源学研究科教員
開催日 平成30年9月22日(土)、23日(日) 会場 生物資源学部大会議室
受講料・定員 無料(要申込)・50名 受講対象者 市民一般
申込方法 メール・郵送・FAX 申込期間 9月14日迄
申込・問合せ 生物資源学研究科チーム/FAX 059-231-9634
E-mail: bio-somu@ab.mie-u.ac.jp
URL http://www.bio.mie-u.ac.jp/ ※詳細は決定次第HPに掲載予定

家族で体験☆三重でおいしく!楽しく健康! ~みえ糖尿病県民公開講座~

開催日 平成30年9月24日(月・祝)
会場 三重県総合文化センター 多目的ホール、知識の広場など
受講料・定員 無料・200名(事前申し込み優先) 受講対象者 市民一般
申込方法 WEB、メール、ハガキ 申込期間 9月10日迄
申込・問合せ 医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科/059-232-1111(代表)
E-mail: info@mie-dm.net
※詳細はホームページ「みえ糖尿病サポートねっと」にてご確認ください

第16回青少年のための科学の祭典・三重大学大会 同時開催:第12回サイエンスonステージ

開催日 平成30年11月3日(土) 13:00~17:00、4(日) 10:00~16:00
会場 三重大学講堂
出展者 三重大学教員・学生、中学校・高校教員、高校生、科学ボランティア
受講料・定員 無料(申込不要)・自由参加 受講対象者 小学生、保護者、市民一般
問合せ 教育学部 後藤太郎/059-231-9260
URL http://sci.edu.mie-u.ac.jp/

教養教育院「公開講座」 「教養教育ウィーク-Refresh教養!」最大8講座受講可

会場 三重大学教養教育校舎 受講対象者 市民一般
受講料・定員 資料代500円(1講座でも8講座でも同一料金) ※要申込・先着50名
申込・問合せ 教養教育院チーム/059-231-9841,9827 FAX 059-231-9353
E-mail: kyoyosomu@ab.mie-u.ac.jp
URL http://www.ars.mie-u.ac.jp/ ※詳細は教養教育院HPに掲載します。

- ①神経発生学の扉 一ものを覚える時、脳内で何が起きるのか
講師 太城康良(教養教育院・准教授)
開催日 平成30年11月12日(月) 10:30~12:00
②私たちは如何にして心配しながら「官僚」を愛するようになったか
講師 中谷直司(教養教育院・特任准教授)
開催日 平成30年11月12日(月) 13:00~14:30
③味と匂の生理学 講師 玉利健悟(教養教育院・特任講師)
開催日 平成30年11月12日(月) 14:40~16:10
④千島列島の自然史 講師 福田知子(教養教育院・特任講師)
開催日 平成30年11月14日(水) 10:30~12:00
⑤音楽の科学 講師 野呂雄一(教養教育院・教授)
開催日 平成30年11月14日(水) 13:00~14:30
⑥ネパール「母国の事情」 講師 トゥラダール アスタ(教養教育院・助教)
開催日 平成30年11月16日(金) 10:30~12:00
⑦意思決定の心のクセ 講師 南 学(教養教育院・教授)
開催日 平成30年11月16日(金) 13:00~14:30
⑧黙示録的想像力(アポカリプティック・イマジネーション) ~現代英米文学が描く「世界の終わり」 講師 平川 和(教養教育院・特任講師)
開催日 平成30年11月16日(金) 14:40~16:10

三重大学医学部附属病院感染制御部「公開講座」 上手に付き合おう「バイキン」と「クスリ」~肺炎についてもっと知ろう!~

講師 高橋佳紀(附属病院感染制御部・副部長)、他
開催日 平成30年11月23日(金・祝) 9:30~11:30
会場 アスト津 アストホール(津市羽所町700)
受講料・定員 無料(要申込)・200名 受講対象者 市民一般
申込方法 FAX・メール 申込期間 11月16日迄
申込・問合せ 医学部附属病院感染制御部
059-231-5714 FAX 059-231-5704
E-mail: kansen@clin.medic.mie-u.ac.jp(担当:新居)
URL http://www.mie-icnet.org/ ※詳細は決定次第HPに掲載予定

医学部「公開講座」

開催日 平成30年秋頃開催予定 会場 三重大学医学部
受講料・定員 無料(要申込)・100名 受講対象者 市民一般
申込方法 郵送・FAX・メール 申込期間 未定
申込・問合せ 医学・病院管理部総務課総務係
059-231-5428 FAX 059-232-7498
E-mail: s-soumu@mo.medic.mie-u.ac.jp
URL http://www.medic.mie-u.ac.jp/event/opensemi.php
※詳細は決定次第URLに掲載予定

メールマガジンのご案内
三重大学では、地域の皆様への情報発信の一環として、メールマガジン
を配信しています(発行:毎月1回)。各種イベント、教育・研究活動上のトピ
ックスなど、“三重大”に関する情報を広く学外へ紹介しています。多くの
方々からのご意見・ご提言もいただきながら、地域とともに発展していきたい
と考えています。
皆様のご登録を心からお待ちしています。
配信お申込み方法
次の事項をご記入の上、下記メールアドレスまでメールをお送りください。
1.メールのタイトルは「メールマガジン希望」と記入してください。
2.メールの本文に、以下の事項を添えてください。
①配信先メールアドレス ②氏名
koho.m-maga@ab.mie-u.ac.jp
できる限りパソコンのメールアドレスをご登録ください。携帯電話の場合、
受信文字数の関係上、内容を一部省略させていただくことになります。

三重大学公式SNS (Facebook, Twitter)を始めました!
三重大学ホームページからアイコンをクリック!
「@MieUniversity」で検索!
YouTubeサイト内で「mieuniversityweb」と検索!



関宿東の追分



地蔵菩薩立像(324cm)



街道北側に広がる茶園



楠原の町並



三重大農場付近の街道

東海道の関宿と伊勢街道の江戸橋を結び、古くから多くの往来がありました。江戸時代の道中記では「いせみち」「参宮道」などと記されていますが、明治十年(一八七七)の『三重県統計表』で初めて「伊勢別街道」とされ、その名が定着してきました。

関宿の東の追分には大きな鳥居が建てられ、まっすぐ南に進み鈴鹿川に架かる勧進橋を渡ると、古代の鈴鹿駅があったと推定される古厩です。

そこから名阪国道をくぐり、街道から少し南の谷に入ると石山観音公園があります。石の山全体に四〇体余の磨崖仏が彫られ、うち地蔵菩薩立像など三体が県指定文化財(彫刻)となっています。

また、街道北側の高台には多くの茶園が見られ、この付近は明治時代から茶の生産が盛んです。茶園の迫る楠原は小さな宿場で、家々はゆったりと連なり、軒先をツバメが飛び交います。中程で街道は鍵の手に折れますが、これは次の宿場の椋本でも同様で、伊勢別街道の町並の特色なのでしょう。椋本では伊勢講の看板を軒に掲げた町家も見られます。

楠原、椋本と続く街道は、里山や農地の緑にあふれています。高野尾には三重大学の農場もあり、その周辺は園芸が盛んです。第三の宿場の窪田の東端には、街道随一の文化一四年(一一七)の常夜灯があります。九メートル近い高さで、奇進した近江の人々の名が刻まれています。

常夜灯の前方の町は一身田。真宗高田派の本山、専修寺があります。一重の大きな屋根は御影堂、二重の屋根は如来堂で、ともに昨年国宝となりました。その先、江戸橋で伊勢別街道は、日永の追分から南下した伊勢街道に合流します。江戸橋を渡ると三重大学です。

三重大学地域イノベーション推進機構
社会連携特任教授 吉村利男
三重大学名誉教授 菅原洋一



専修寺御影堂と如来堂



窪田の常夜灯



歴史街道シリーズは今月号で最終回となります。ご愛読ありがとうございました。

編集後記 vol.11

大学構内のムクロジの木に、昨年よりも多くの花が咲きました。追羽根やせっけんとしても使われる実が、たくさんなるのを楽しみにしています。日々移ろいゆく豊かな緑を眺める心のゆとりを持ち続けたいものです。(ささゆり)



今号はインターシブ特集を担当しました。その頃はまだまだ一般的ではなく、私はインターシブに行きませんでした。転職も経験して、就活前に仕事を体験できたら違う選択もあったのかも…と今の学生さんたちを少し羨ましく思っています。(Mary)



夏は明るいイメージがあり、私の1番好きな季節です。だんだん日が長くなってくると、夏が近づいて来ているのを感じ、嬉しくなります。今年の夏はいろいろなお店のかき氷巡りをして、暑い夏を乗り切りたいと思います!(love)



お待ちいたしました。えっくす40号完成です。高校生の方、三重大のオープンキャンパスに来て大学生活を体験してみませんか!きっと貴方の探していたものが見つかるはず!来たら三重大へ!お待ちしております。



三重大で働き始めて1か月になります。周囲の方の手助けにより、少しずつ仕事に慣れてきました。えっくすの作成には少しかだけ携わらせて頂きました。穏やかな人柄の方が多く、心地良い日々です。(MTM)



今回文系でない私が、教職員の方が作成した文章を更に編集することになり、何度も調べながら学ばせていただき、良い経験になりました。ただ本来の仕事が疎かになっており、夏のイベント前に巻き返したいと思います。(nico)



いつもご愛読ありがとうございます!

私たちの仲間を紹介するよ!

初めて「えっくす」の作成に関わらせて頂きましたが、知れば知るほど三重大は奥深く、そして面白いです。是非多くの方に「えっくす」を手にとって頂き、三重大を好きになって頂けたら嬉しいです!(SZK)



アンケートに答えて...

三重大大学オリジナルグッズをもらおう!!

「三重大X」をよりよくするために、ぜひアンケートにご協力をお願いします。平成30年9月30日(日)(当日消印有効)までにアンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で5名に「三重大大学ブランド商品詰め合わせ(三重大大学カレー2箱、かたやき小焼1袋、三重大大学オリジナルバッグ1個)」を、30名に「オリジナル文具セット(付箋1個、蛍光マーカー(3本入)1個)」をお送りします。どしどしお寄せください。

*当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

*「三重大大学ブランド商品詰め合わせ」、「オリジナル文具セット」をご希望の方は、巻末の綴じ込みはがきにご感想等必要事項をご記入の上ご投函ください。



三重大大学ブランド商品詰め合わせ 抽選で5名様

オリジナル文具セット 抽選で30名様

「教養」は生きるチカラ。

放送大学10月入学生募集!

<10月入学出願期間>

第1回募集

平成30年6月15日(金)
~平成30年8月31日(金)

第2回募集

平成30年9月1日(土)
~平成30年9月20日(木)

テレビ・インターネットで学べます。
1科目(2単位) 11,000円(教材費を含む)から。
入学試験はありません。(大学院全生を除く)
キャリアアップ(現職教員・看護師・准看護師の方)や
資格取得、生涯学習など目的に応じた学びができます。

インターネットで資料請求・出願ができます!

放送大学 検索 www.ouj.ac.jp 資料請求専用フリーダイヤル ☎ 0120-864-600



〒514-0061 津市一身田上津部田1234
(三重県総合文化センター内)
TEL 059-233-1170 FAX 059-233-1179



毎週月曜日
19:00 ~ 19:55
※土曜昼 12:00~再放送



堀口文宏(あさりど)と萩美香が「おかげ旅行社」ツアープランナーとなって、シーズンや行事などを吟味したベストタイミングの「ええ旅プラン」をプロデュース!



三重テレビ放送 特別番組



第三話 (6/23-7/21) 平成の刀鍛冶
第四話 (7/28-8/18) 戦国の剣
第五話 (8/25-9/15) 妖しの刀
第六話 (9/22-10/20) 女流剣士
第七話 (10/27-11/17) はじまりの刀
第八話 (11/24-12/15) 刀装具の世界
第九話 (12/22-1/19) 鉄の道をたどる
第十話 (1/26-2/16) 刀 再入門

毎月第4土曜日
21:00 ~ 21:55
※翌月第3土曜 再放送



▼出演: 松平健
▼ナレーション: 羽佐間道夫

● 本誌お問い合わせ先 ● 三重大大学企画総務部総務チーム広報室
● 広告掲載のご依頼 ● 〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL 059-231-9789 / FAX 059-231-9000
ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/>
E-mail koho@ab.mie-u.ac.jp

*ご意見をお寄せください。

三重大 X [えっくす] vol.40

平成30年6月発行
●発行/三重大大学広報委員会
●編集/三重大大学企画総務部総務チーム広報室
●印刷/有限会社アートピア artopia@zvtv.ne.jp
◎禁無断転載 本誌掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。

MIE UNIVERSITY



☆☆☆☆☆
見て!聞いて!体験して!
未来の自分を発見しよう!!
☆☆☆☆☆

OPEN CAMPUS 2018

「4つの力」で
世界に伸びよう

★生きる力 ★考える力 ★感じる力 ★コミュニケーション力

三重大学オープンキャンパス

8.8 WED 8.9 THU 8.10 FRI

学部紹介

体験授業

研究室見学

学生による紹介

なんでも相談コーナー

保護者向け企画

★人文学部 ★医学部医学科 ★教育学部
★生物資源学部 ★医学部看護学科 ★工学部

受験生、保護者の皆様へ

三重県、愛知県などで開催する進学説明会等・相談会においても、本学の様々な情報を提供いたします。詳細は、本学ホームページ「入試情報」をご覧ください。

学務部入試チーム TEL 059-231-9063

URL <http://www.mie-u.ac.jp/exam/>

三重大学オープンキャンパス2018

検索



※参加にはお申し込みが必要です。申込方法はホームページをご覧ください。

秋のミニ・オープンキャンパス開催!!

期日 9月30日(日) 会場 三重大学

生物資源学部 大阪で受験

個別
学力検査
前期日程

平成31年2月25日

Mie University Used Book Donations

三重大学振興基金 古本募金

読み終わった本で三重大学をサポート

三重大学振興基金古本募金は、卒業生・在学生・保護者・教職員・一般の皆様からの本の寄附によって、三重大学の学生支援、国際交流及び地域貢献等の一層の進展を図り、教育・学術研究の振興に役立てられます。

お送りいただく書籍等について

◎ 買い取れる書籍等の例

ISBNコードの付いた書籍・CD・DVD

ISBNコードの付いた書籍・CD・DVD、発売から間もない書籍等、リサイクル市場での価値が高い商品などは特に寄附金が大きくなる傾向がございます。

※書籍・CD・DVDなどの価値は需要と供給で決まるため、寄附していただいた本の状態が良くても値段がつかないこともありますのでご了承ください。



ISBNとは国際標準図書番号です。左記のような表記で書籍の裏表紙等についています。

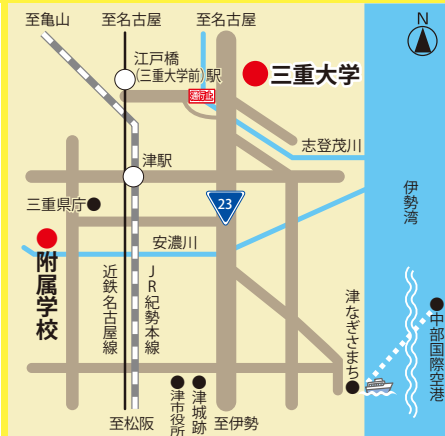
5冊(5点)以上の場合、
宅配業者が集荷に向います。
(送料無料)

× 買い取れない書籍等の例

ISBNのない書籍・個人出版の書籍／古書／マンガ雑誌／コンビニコミック／百科事典／ソフト・ディスクがひどく傷ついているもの・ケース及びディスクが欠品しているDVD・規格品番がないもの・違法なもの・海賊版／コピー／サンプル・児童売春・児童ポルノ禁止法(関連法令含む)に抵触する恐れのある全ての商品

値段がつかず、また古書市場でも再販できなかった書籍については、ブックギフトプロジェクトという形で、若者支援施設や国内外の小中学校の図書館、海外の教育研究機関に寄附しております。

交通のご案内



江戸橋(三重大学前)駅から徒歩約15分

津駅から

- 津駅東口バスのりば「4番」から三重交通バスで「白塚駅」(06系統)、「千里駅」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「原本(むくもと)」(52系統)、「豊里ネオポリス」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)、「高田高校前」(56系統)行きで、「三重大学前」下車。(附属病院、医学部、工学部へは「大学病院前」下車)

2. タクシーで約10分

中部国際空港(セントレア)から

津エアポートライン(船)で津なぎさまちへ40分

- 「津なぎさまち」から三交バスで「津駅前」まで約15分
- 津なぎさまちからタクシーで三重大学まで約15分

お申込みはホームページへ

三重大学振興基金古本募金

検索

お問合わせ先

三重大学振興基金事務局【企画総務部総務チーム内】

TEL: 059-231-9005 FAX: 059-231-9000 E-mail: kikin@ab.mie-u.ac.jp

皆さまからのご寄附は、三重大学振興基金(学資支援事業・学内施設の整備事業)に役立てられます。



国立大学法人

三重大学

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
TEL059-232-1211(代)

<http://www.mie-u.ac.jp/>

